

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(倉吉市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会



自由民主党
村田 実
むらた みおる

倉吉に生まれ、倉吉で育ち、誰よりも倉吉を愛する私は、今みなぎる勇氣と溢れる情熱をもって九たび県政の場に挑む。活力を失った倉吉、影をひそめてしまった市民県民のための政治。

地方創生の拡大をはかり、このかけがえのないふるさと倉吉に今一度活気を取り戻し、新しい時代の新しいまち中部倉吉を築きたい。

私がこれまでに培った知識と経験そして決断と行動力を思う存分発揮し、皆さんとともに必ず実現させねばならない。元氣にあふれた

活力ある鳥取県を
創るために

◎充実した地方創生の拡大

◎北条湯原道路、山陰自動車道の整備促進

◎少子高齢化対策の充実で、皆が安心して暮らせる社会の実現

◎地場産業の育成と新産業の創出による雇用の拡大

◎農業の基盤整備を図り、地産地消の推進

◎防災ステーションの整備で自然災害に強いまちづくり

◎優しい心と命の大切さを育む人間性豊かな教育の推進

村田実 は約束を守るために
全身全霊で取り組みます！



自民党公認

西村 ひろふみ

- 自動車専用道路、「北条道路」、「倉吉関金道路」の早期整備。
- 山陰新幹線をはじめとする高速鉄道網の早期整備。
- 経営の安定化対策、担い手対策、6次産業化で農林水産業を活性化。
- 子ども・子育て支援、医療、介護などの福祉支援の充実。
- 中心市街地の活性化、地元中小企業の競争力を強化。
- 観光資源の戦略的な活用、広域観光の推進により魅力ある地域づくり。
- 中部の新たな「地(知)の拠点」、鳥取看護大学に対する支援。
- 男女共同参画社会の実現、ワーク・ライフ・バランスの推進。

政策目標

西村博文 プロフィール	H6年11月 新成物産株式会社(丸紅関係会社)
S38年4月25日生・51歳 倉吉市出身	情報電子機器部部長 (政府開発援助案件担当)
57年3月 倉吉東高等学校 卒業	防災防犯機器部部長 (警察庁・消防庁・海上保安庁担当)
58年4月 早稲田大学社会科学部 入学	H11年4月 株式会社クラエー
60年4月 カリフォルニア大学アーバイン校 留学	代表取締役社長(H27.3未退任)
61年3月 カリフォルニア大学アーバイン校 社会科学部 単位取得	その他
62年3月 早稲田大学社会科学部 卒業	早稲田大学校友会 代議員・鳥取県支部幹事長
4月 日本アイ・ピー・エム株式会社 外事部、官公庁・経団連担当員 官公庁開発室、外務省担当営業 国際営業本部、 政府開発援助(ODA)担当主査	歴任
	中米域内産業育成計画国内支援諮問委員会 (国際協力事業団)委員 コスタリカ共和国政府観光局 名誉代表 鳥取環境大学 理事

元気な中部・倉吉をつくる

県議会活動で実現したこと(3期目)

- 消費増税増税関連の対策窓口、融資制度の創設と中小零細企業の経営革新支援の仕組みづくり。
- 専攻科廃止の倉吉東高に補習科「倉吉鴨水会館」設置を実現。
- ため池改修事業の農家負担の軽減としゅんせつ助成事業の創設。
- 企業立地補助制度において、非正規から正規雇用へとシフトする制度への見直し。
- 梨、柿等の霜被害への支援と防霜対策の実施。
- 民間子育て施設を対象にした県産木材利用補助制度の創設。
- 厚生病院施設を利用して、中部地区の病児保育を実施。
- 認知症グループホームの増床により認知症支援を充実。
- 不足する脳卒中リハビリ提供病院とリハビリスタッフの増員。
- 県保有の歩道除雪機を増やし、児童通学路への信号機の設置。

基本姿勢

- 地方優先、働く者・生活者優先の政治で格差をなくします
- 人と地域を守る力になります

取組みの目標

- 農業・農村を守りぬく
- 少子化対策、子育て支援の充実
- 医療・介護の充実で安心社会を築く
- 地域産業の振興と雇用の安定
- 地方から日本国憲法を守る

地方に住む私たち鳥取県民の生活は、依然として厳しく、中小企業、農業者、働く者・生活者に景気回復は及んでいません。その格差は拡大しているのが現状です。大都市優先、大企業優先、富裕層優先の政治ではなく、地方優先、中小企業優先、働く者・生活者優先の政治を行うため、地方から声をあげ、政策を提案、実現するため、全力を尽くしてまいります。

美しい自然、優れた農産物、豊かな地域資源があり、地域づくりに取り組む人たちの絆がある鳥取県・倉吉市。この郷土の誇りを胸に、真面目に働く人たちの努力が報われ、県民の暮らしが向上する県政をめざして、元気な中部・倉吉をつくるため、誠実に、謙虚に、そして全力で、取り組んでまいります。

興治英夫

立候補にあたって



民主党
おきはる 英夫

地域の特性を活かし、生活に密着した再生を！

子どもと地域

●子どもたちの社会性の発達支援をサポート。●個々の障がいの特性と発達に応じた特別支援教育の実現。●保育料の県助成で、第一子から大幅軽減を。●高校生等の就学支援、大学生への奨学金拡充。

産業と地域

●農畜産物のブランド化推進で販路拡大を進める。●強みのある園芸産地を形成、農業所得の向上。●高水準技術製造業や経営革新計画に取り組む企業の市場開拓を支援。●山陰道、北条湯原道路のミッシングリンクの解消を急ぐ。●「遙かな町」倉吉へ「砂丘コナツ」空港から、観光客を招く。

文化・スポーツと地域

●県立博物館の美術館構想で、中部地区への誘致実現に努力する。●ガイナレ鳥取を支援、アジア・トレイルズカンファレンスの成功。●平成30年初めに、2巡目となる鳥取国体の開催を誘致する。

保健と地域

●独居高齢者を支え、認知症を地域で予防する。●小規模多機能型居宅介護を県内53事業所が提供し、家族を支える。●要支援事業に新たな地域団体、生協などの参入を待望。●国民健康保険の県移管が、保険料軽減につながる制度設計を求めていく。

再生エネルギーと地域

●固定価格買取制度により、太陽光、水力など急増、地熱、バイオマス発電による熱供給も開始。●木質バイオマス発電は間伐材利用で山を動かす。原発ゼロへエネルギー政策の転換は今です。

平井知事と行く



はせがわ みおる
長谷川 稔

東日本大震災、福島第一原発事故は私たちに、そこを根を下ろして生活していけることが国富であることを教えています。原発ゼロへエネルギー政策の転換を求めた4年間でした。

平井知事は「鳥取から日本を変える」と手話言語条例にみられるように実に意欲的でした。平井知事とは、議会との関係が難しかった常設型の県民投票制度を設置したこと、に感謝深いものがあります。

議員としての私は、看護士の質向上が医療・保健に必要であり、鳥取短大が母体となることで、可能性が生まれると主張。全議員の理解で実現したことが印象に残ります。

今、地方創生が叫ばれますが、人口減少、少子化の原因に若者が結婚を考えられない程、低収入や不安定な立場にあることがあります。非正規雇用の問題解決への取り組みこそ急務です。鳥取県には介護福祉関係の従事者が多く、今回の介護報酬引き下げが、介護職の人材確保に影響し、地域福祉をつぶすことのないよう注視していきます。

社会に貧困と格差が拡大し、寛容の精神が薄らいでいることが懸念されます。今こそ、倉吉市が培った同和教育を生かした人権社会を確立していきます。

私はスローパーで働き、市会議員となり、市長、県会議員を務めてきました。若い世代に時代の体験をつなぎ、地域の明日に向かって走りたいというのが念願です。政治をあきらめないで。

平成27年4月12日執行
鳥取県議会議員選挙

選挙公報(倉吉市選挙区)

鳥取県選挙管理委員会

中部の元気は鳥取県の元気

中部1市4町のそれぞれの地域コミュニティで地域の特色を活かした住民主体のまちづくりを進め、中部の元気を鳥取県の元気につなげます。

し ろ ひ べ わ か
新風おくる鳥取県
チャレンジのかわべ
論より行動
広い視野と発想で
私達の地域のために
べえは鳥取で考える
かまきよう考えよう



地域の暮らしを守る

地域の魅力を向上する

地域の未来をつくる

- ・中山間地の暮らしを守る農業とチャレンジする農業を支援します
- ・地元企業の支援と創業の支援で若者の働く場をつくります
- ・互いに支えあう暮らしのセーフティネットとして地域コミュニティを守ります
- ・意見や考え方の違いを尊重しながら共存できる多様性に寛容な社会をつくります
- ・誰にでも優しい安全で安心なまちづくりを進めます
- ・景観に配慮した美しいまちづくりを進めます
- ・観光振興と地域の暮らしを両立させる観光まちづくりを進めます
- ・子供たちを自立した大人に育てるための教育環境を整備します
- ・安心して子育てできる環境づくりを進めます
- ・安心で安全な食の提供と食育の充実で健康な体づくりを進めます
- ・自然エネルギーを活かした持続可能なまちをつくります



49歳

かわべ ひろし 洋

倉吉から県政に新しい風を!

1人ひとりが安心して心豊かに暮らせる鳥取県を目指して

鳥取県議会議員選挙

投票日 4月12日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

〔ただし、一部の地域では、投票所の閉鎖時刻を繰り上げるところもありますのでご注意ください。〕

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所を移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有する旨の証明書」を提示することで、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。